

3 汚水の処理の方法

イ. 汚水の処理施設（除害施設）の設置場所（添付図-1のとおり。）

ロ. 汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 令和**年 6月 1日

工事完成予定年月日 令和**年 7月 31日

使用開始予定年月日 令和**年 9月 1日

ハ. 汚水の処理施設（除害施設）の種類，型式，構造，主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種 類	型 式	構 造	主 要 寸 法	能力 (m ³ /日)	処 理 の 方 法	備 考
めっき排水処理施設	自動連続式	鉄筋コンクリート		10時間/日		詳細は別紙仕様書のとおり
A シアン系原水貯槽		耐酸仕上	1800×1800×2000	5 m ³	酸化分解	
B シアン1次反応槽		鉄製塩ビ張	1000×1000×1300	1 m ³		
C シアン2次反応槽			1300×1300×1600	2 m ³		
D クロム系原水貯槽			1500×1500×1500	2 m ³	還元	
E クロム還元槽			800×800×1000	0.5 m ³		
F 酸アルカリ系原水貯槽			1600×1600×2000	4 m ³	中和	
G pH調整槽			1000×1000×1200	1 m ³		
H 沈殿槽			2000×2000×3000	9 m ³	薬品沈殿ろ過	

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理施設（除害施設）の設置場所」
添付図-1に記入して下さい。
- (2) 「汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日始」
除害施設の新設又は構造等の変更の場合に記入して下さい。
- (3) 「汚水の処理施設（除害施設）の種類，形式，構造，主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方法」
 - ① 「種類」 除害施設の名称は処理対象汚水，処理機能などから判断し記入して下さい
 - ② 「形式」・「構造」・「主要寸法」 除害施設を構成する各種装置別に記入して下さい。
 - ③ 「能力」 設計上の能力1日（稼動時間）当りの数値を記入して下さい。また，槽などは有効容量を記入して下さい。
 - ④ 「処理の方法」 汚水の種類毎に方法名を記入して下さい。

ニ. 汚水の処理の系統 (添付図-3 のとおり。)

シアン系汚水及びクロム系汚水は別々に処理し、酸・アルカリ系汚水とともに凝集沈殿後、上澄水はろ過・中和して排除する。

沈殿槽の汚では脱水機 (フィルタープレス) にて処理後、業者委託処分する。

ホ. 汚水の集水及び汚水の処理施設 (除害施設) までの導水の方法 (添付図-1, 2 のとおり。)

クロム・シアン及び酸・アルカリ系汚水はそれぞれ塩ビ管により導水する。

特定施設等からオーバーフローした床面汚水はU字溝及び角マスに集水し塩ビ管で導水する。

床面は耐水耐食加工し、地下浸透を防止すると共に、防液堤を設けて系統分離する。

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理の系統」
処理の概要を記入し、添付図-3 に処理系統を色分けして下さい。
- (2) 「汚水の集水および汚水の処理施設 (除害施設) までの導水の方法」
汚水の集水及び導水の概要を記入し、添付図-1, 2 に系統別に色分けして下さい。

別紙 (3) (3/6)

へ. 汚水の処理施設 (除害施設) の使用時間間隔及び 1 日当り使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設の名称 (除害施設)	使用時間間隔	1 日当りの使用時間	季節的変動の概要	備考
めっき排水処理施設	8:00~18:00	10時間	7月~9月 (夏季) 少ない。 3月~5月 (春季) 多い。	

ト. 汚水の処理施設 (除害施設) において使用する消耗資材の 1 日当りの用途別使用量

処理施設の名称 (除害施設)	消耗資材名	用途別	1 日当りの使用量	備考
めっき排水処理施設	次亜塩素酸ソーダ	シアン分解用	10 kg	
	重亜硫酸ソーダ	クロム還元用	5 "	
	カセイソーダ	pH調整用	2 "	
	消石灰	"	2 "	
	硫酸	"	5 "	
	有機高分子凝集剤 (〇〇フロック〇〇)	凝集用	10L	****株式会社製

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理施設 (除害施設) の使用時間間隔及び 1 日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」
 - ① 「処理施設 (除害施設) の名称」
名称は 3 汚水の処理の方法ハの種類と同じ名称を記入して下さい。
 - ② 「使用時間間隔」
除害施設の稼働時間帯を記入して下さい。間欠式運転の場合はそれぞれの時間帯を記入して下さい。
 - ③ 「1 日当りの使用時間」
1 日当りの除害施設の延べ運転時間を記入して下さい。
- (2) 「汚水の処理施設 (除害施設) において使用する消耗資材の 1 日当りの用途別使用量」
 - ① 「消耗資材名」除害施設の稼働に必要な薬品等を記入して下さい。この場合、電気、上水、ガスは記入しないで下さい。
 - ② 「用途別」消耗資材別に用途を記入して下さい。1 つの資材で複数の用途のあるものについてはそれぞれ記入して下さい。
 - ③ 「1 日当り使用量」消耗資材別の量を記入しますが、薬品の場合は、その濃度を記入して下さい。
 - ④ 「備考」消耗資材のメーカー及び薬品の使用濃度を記入して下さい。

別紙 (3) (6/6)

処 理 後 水 質																									
1, 1, 1-トリクロロエタン (mg/L)		1, 1, 2-トリクロロエタン (mg/L)		1, 3-ジクロロプロペン (mg/L)		チラウム (mg/L)		シマジン (mg/L)		オホノカブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ふっ素 (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ダケチン類 (pg/L)		(mg/L)		(mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

リ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残 さ の 種 類	生成量 (t/月)	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考
脱水汚でい (金属水酸化物)	4 (含水率 80%)	フィルタープレスで脱水した汚でいは産業廃棄物処理委託ポリ袋に詰めて自社内保管後処理業者に委託処分する。 収集運搬業者：株式会社〇〇産廃 処分業者：有限会社△△センター	産業廃棄物処理委託契約書(写) 別添のとおり

ヌ. 汚水を公共下水道へ排除する方法 (排水口の位置及び数並びに排出先を含む。)(添付図-1のとおり。)

ル. その他参考事項

除害施設建設費 3,000万円 内訳 自己資金 1,000万円
市の融資制度 2,000万円

記入上の注意

- ① 「残さの種類」
除害施設から生ずる各種廃棄物を記入して下さい。この廃棄物は通常汚泥ですが、その他に廃油、廃酸・廃アルカリなどがありますので残さの種類毎に分けて記入して下さい。
- ② 「生成量」
残さの種類毎に生成量を記入して下さい。(除害施設の設計上の能力から判断し、推定量を記入することもできます。)なお、量には必ず水分、油分などの割合をあわせて記入して下さい。
- ③ 「処理方法の概要」
残さの種類毎に、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入して下さい。また、産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付して下さい。
- ④ 「その他参考事項」
除害施設の建設費及び調達資金の内訳を記入して下さい。